

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
担当	にぎわい創出課
グループ名	地域振興グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	地域活性化拠点整備事業費				(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業				
(4)第5次総合振興計画での位置づけ					(5)予算・財源等の別							
①基本目標	活力ある産業のまち〈産業の振興〉				①会計区分	一般会計						
②大項目	観 光				②財源区分	国県補助						
③中項目	観光の拠点づくり				③予算科目	款	7	項 1 目 3				
④施策	観光資源の充実				④予算事業名	地域活性化拠点整備事業費						
⑤施策コード	6.4.1.0	掲載ページ	105	ページ								
(6)実施根拠					(7)総合戦略							
①事務分類(自治・法定受託)		自治事務			①総合戦略 (該当事業名)	地域活性化拠点整備事業費						
②根拠法令・条例等												
③事業期間	開始	令和4	年	4	月	から	終了	令和7	年	3	月	まで

## 2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)				(2) 内容(どのような取り組みか)			
道の駅おがわまちを「手漉き和紙と有機の里」をコンセプトとした地域活性化交流拠点として整備し、観光消費額の増加につなげるとともに、その効果を町なかや様々な地域資源への誘導、にぎわい創出・活性化などに波及させ、観光振興を通じた地方創生を図る。				・道の駅おがわまちのリニューアル。 ・道の駅おがわまちの周辺整備。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4) 成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
町内外の一般・観光客				リニューアルオープン。周辺整備完了。			
対象数		入込観光客数		単位		千人	

## (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

総合戦略の基本的な考え方の一つにある「町の地域資源(観光資源や地域食材)を有効に活用し、未来に向けた町の魅力度の向上を目指す取組」や、「移住・定住・関係人口の拡大」などの基本目標を達成するため、観光振興の中核となる施設整備により、人の流れを呼び込み町全体の活性化につなげる必要がある。

## (6)SDGsへの貢献



## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)名称		地域活性化拠点整備事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳						
報酬	0	0	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0	0	0
需用費	0	0	445	648	0	0
役務費	0	0	255	1,036	0	0
委託料	0	0	55,943	34,779	0	0
その他	0	0	89,528	1,829,406	0	0
直接事業費合計	0	0	146,171	1,865,869	0	0
(3)財源内訳						
国庫支出金	0	0	0	503,833	0	0
県支出金	0	0	0	81,134	0	0
地方債	0	0	0	1,036,700	0	0
その他特定財源	0	0	0	5,798	0	0
一般財源	0	0	146,171	238,404	0	0
合計	0	0	146,171	1,865,869	0	0
(4)補助金名				デジタル田園都市国家構想交付金 ふるさと創造資金 埼玉版スーパーシティのロジック推進補助金		
(5)人件費						
投入職員数	0	0	1.5	1.5	0	0
年間人件費	0	0	11,282	11,658	0	0
(6)総事業費	0	0	157,453	1,877,527	0	0
サービス量(人)	0	0	693,587	587,363	0	0
サービス単価	-	-	227.0	3196.5	-	-
(単位)	円/入込観光客1人当たり					

4 指標の検証				地域活性化拠点整備事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	道の駅リニューアル進捗率	目標値	%	100	100	—
		実績値	%	100	100	
		達成率	%	100.0	100.0	
	周辺整備進捗率	目標値	%	100	100	—
		実績値	%	100	100	
		達成率	%	100.0	100.0	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	入込観光客数(総目標指標p106) R7年度目標値 780千人/年	目標値	千人	780	780	780
		実績値	千人	694	587	
		達成率	%	89.0	75.3	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他( )	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他( )	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(最小限の投入職員で事業を遂行。整備の成果は今後の指標の推移による)	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他( )	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(進捗率100%)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
資材盗難等の突発的な遅延要因があったが、年度内に整備工事を完了することができた。しかし、開業準備期間確保のため、開業は令和7年5月にずれ込んだ。						
6 事業の方向性の判断						
		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)						
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)	3 縮小・統廃合	町の観光拠点としてさらに進化させるとともに、町内外の交流を促進し、活気ある地域づくりを一層進めていく。				